

機器等内訳及びシステム要求要件

1 ハードウェア

(1) 仮想管理サーバ

項番	名称	要件	数量
1	仮想管理サーバ	必須要件 - 仮想管理サーバとして安定動作できる CPU、メモリ、HDD 要件を満たしていること。 - 仮想環境で標準共済システムサーバが正常に動作すること。 - 搭載される CPU は Xeon Silver 4416+ を 2 基搭載と同程度 (1 基あたり周波数 : 2.0GHz、コア数 : 20 コア/40 スレッド)、若しくはそれ以上の CPU スペックを持ち合わせていること。 - システムメモリは、192GB 以上実装されていること。 - メモリ拡張が可能なこと。また CPU を最大 2 基まで搭載できること。 - HDD は RAID5+HotSpare 構成で、930GB 以上の利用可能な容量を確保すること。 - HDD は 10,000rpm 以上の SAS ディスク、若しくはそれ以上のスペックであること。 - サーバ本体及び HDD はホットプラグ対応であること。 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、8 ポート以上実装されていること。 10GBASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、2 ポート以上実装されていること。 16Gbps 以上のファイバーチャネルポートを 2 ポート以上装備していること。 - 仮想管理サーバを 3 台用意し、標準共済システムサーバを仮想上に作成し、1 台当たり標準共済システムサーバ 6 台を起動することができること。 - 冗長構成を可能とし、仮想管理サーバ 1 台が故障しホスト 2 台構成となった際には仮想管理サーバ 1 台あたり標準共済システムサーバ 9 台を起動させることができること。 2.(1) 1 にあるオペレーティングシステムがプレインストールされていること。 - 標準共済システムサーバに 2.(2) 2 のデータベース管理ソフトウェアを問題なく導入できる構成であること。 - CD-ROM : 24 倍速以上、DVD-ROM : 8 倍速以上の CD-ROM/DVD-ROM ドライブが実装されていること。 - 温度 10~35℃、湿度 20~80% (結露なし) で正常に動作すること。 - 電源 : 交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 - EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 - 共有ディスク装置に接続し、標準共済システムサーバのシステム領域とデータ領域 (仮想ディスク) を共有ディスク装置に搭載すること。 - ファイバーチャネルによる共有ディスク装置間の通信経路を冗長化し、一経路が通信不可となった場合でもアクセスを継続できること。 - 外面ランプから故障検知ができること。 - 電源装置が 2 基搭載されていること。 - BMC (Baseboard Management Controller) と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップを搭載し、IPMI (Intelligent Platform Management Interface) に準拠していること。 - 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地か	3

		ら LAN 経由でハードウェアの基本コンポーネント（CPU、メモリ、バス、ファン、温度センサ、電圧など）の監視が行えること。 ・ 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由での電源投入、電源断、画面操作が行えること。 ・ リカバリーディスクが付属していること。	
--	--	---	--

(2) 共有ディスク装置

項番	名称	要件	数量
1	共有ディスク装置	必須要件 ・ HDD 容量は合計で 6.5TB 以上の実容量が実装されており、その中から以下の表「HDD 要求性能」にて示す各共済組合にて必要となる容量を割り当てられること。 ・ HDD はホットプラグ対応であること。 ・ RAID10 と同等以上の耐障害性及び性能を持つ RAID 構成を採用しており、1 台以上のホットスペア HDD を実装していること。 ・ HDD は 15,000rpm 以上の SAS ディスク、若しくはそれ以上のスペックであること。 ・ HDD が増設可能であること。 ・ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、2 ポート以上実装されていること。 ・ 16Gbps 以上のファイバーチャネルポートを 6 ポート以上装備していること。 ・ ファイバーチャネルによる仮想管理サーバ間の通信経路を冗長化し、一経路が通信不可となった場合でもアクセスを継続できること。 ・ 停電発生時に仮想管理サーバ全台の停止をもって、共有ディスク装置を停止する仕組みを有すること。 ・ Web ブラウザ等で共有ディスク装置に接続し、ハードウェア状態の遠隔監視が可能であること。 ・ 遠隔での電源操作により電源断の状態からの電源投入、電源断、再起動が可能であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 ・ 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。	1

表 HDD 要求性能

対象となる共済組合	要求スペック
・ 衆議院共済組合	159.83 GB
・ 参議院共済組合	149.61 GB
・ 内閣共済組合	210.12 GB
・ 総務省共済組合	435.84 GB
・ 法務省共済組合	165.81 GB
・ 外務省共済組合	579.77 GB
・ 財務省共済組合	1194.93 GB
・ 文部科学省共済組合	383.05 GB
・ 厚生労働省共済組合	206.77 GB
・ 農林水産省共済組合	368.36 GB
・ 経済産業省共済組合	679.16 GB
・ 国土交通省共済組合	326.93 GB
・ 裁判所共済組合	139.07 GB
・ 会計検査院共済組合	245.67 GB
・ 刑務共済組合	498.90 GB
・ 厚生労働省第二共済組合	300.75 GB
・ 林野庁共済組合	206.45 GB
・ 国家公務員共済組合連合会職員共済組合	193.60 GB
合計	6,444.62 GB

(3) ディスプレイ及びキーボード

項番	名称	要件	数量
1	ディスプレイ及びキーボード	必須要件 ・ 17 インチ以上及び SXGA 以上の TFT カラーLCD であること。 ・ キーボードは JIS109 配列日本語キーボードであること。 ・ 2 ボタンタッチパッド、若しくはホイールマウスであること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 仮想管理サーバ、ActiveDirectory サーバ、運用監視サーバ、バックアップサーバに対して接続し、切り替えて使用できること。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。	注

(注) 数量については、各要件を満たす範囲で最小限の個数とすること。

(4) 無停電電源装置

項番	名称	要件	数量
1	無停電電源装置	必須要件 ・ 予期せぬ停電や瞬断時に接続される機器が正常にシャットダウンされるのに必要な時間給電を保つことが可能であること。 ・ なお給電時間には、以下の表「停電発生時の待機時間」にて示す待機時間を加えること。 ・ 自動シャットダウン機能、リアルタイムモニタリング機能、スケジュール運転機能等を持ち合わせた、対応アプリケーションより操作が可能であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 運用監視端末以外の全ての機器と、G-NET 用ルータ及び IP-VPN 用ルータ、遠隔保守ルータ、ONU、ゲートウェイ装置（注 1）に対して安定した電源供給が可能であり、それらの機器を接続するためのコンセント数が装備されていること。 ・ Web ブラウザ等で無停電電源装置に接続しハードウェア状態の遠隔監視が可能であること。 ・ 設置施設の電源設備の電源容量（設備全体で約 25,000VA、100A 未満）内で安定して動作すること。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 ・ 入力プラグの形状は NEMA L5-30P であること。 ・ 2. (4) 4にある電源管理ソフトウェアとの通信可能なインターフェイスが装備されていること。	注 2

(注 1) G-NET 用ルータ、IP-VPN 用ルータ、遠隔保守ルータ、ONU、ゲートウェイ装置の電源容量として、1,700W の余裕がある状態とすること。

(注 2) 数量については、各要件を満たす範囲で最小限の個数とすること。

表 停電発生時の待機時間

サーバ・共有ディスク装置	待機時間	待機後の主な動作
・ 仮想管理サーバ	8 分	仮想環境で稼動している標準共済システムサーバのシャットダウン、OS のシャットダウン、機器の停止
・ ActiveDirectory サーバ	11 分	OS のシャットダウン、機器の停止
・ バックアップサーバ	8 分	OS のシャットダウン、機器の停止
・ 運用監視サーバ	8 分	OS のシャットダウン、機器の停止
・ 共有ディスク装置	仮想管理サーバ全台の停止に要する時間	機器の停止

(5) ActiveDirectory サーバ

項番	名称	要件	数量
1	Active Directory サーバ	必須要件 ・ ActiveDirectory 兼 DNS サーバとして安定動作できる CPU、メモリ、HDD 要件を満たしていること。 ・ 搭載される CPU は Xeon E-2436 と同程度（周波数：2.9GHz、コア数：6 コア/12 スレッド）、若しくはそれ以上の CPU スペックを持ち合わせていること。 ・ システムメモリは、16GB 以上実装されていること。 ・ メモリ拡張が可能であること。 ・ HDD は RAID5+HotSpare 構成で、240GB 以上の利用可能な容量を確保すること。 ・ HDD は 10,000rpm 以上の SAS ディスク、若しくはそれ以上のスペックであること。 ・ サーバ本体及び HDD はホットプラグ対応であること。 ・ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、4 ポート以上実装されていること。 ・ 2. (3) 1 にあるオペレーティングシステムがプレインストールされていること。 ・ CD-ROM：24 倍速以上、DVD-ROM：8 倍速以上の CD-ROM/DVD-ROM ドライブが実装されていること。 ・ 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 外面ランプから故障検知ができること。 ・ 電源装置が 2 基搭載されていること。 ・ BMC (Baseboard Management Controller) と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップを搭載し、IPMI (Intelligent Platform Management Interface) に準拠していること。 ・ 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由でハードウェアの基本コンポーネント（CPU、メモリ、バス、ファン、温度センサ、電圧など）の監視が行えること。 ・ 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由での電源投入、電源断、画面操作が行えること。 ・ リカバリーディスクが付属していること。	2

(6) 運用監視サーバ

項番	名称	要件	数量
1	運用監視サーバ	必須要件 ・ 運用監視サーバとして安定動作できる CPU、メモリ、HDD 要件を満たしていること。 ・ 搭載される CPU は、Xeon E-2436 と同程度（周波数：2.9GHz、コア数：6 コア/12 スレッド）、若しくはそれ以上の CPU スペックを持ち合わせていること。 ・ システムメモリは、16GB 以上実装されていること。 ・ メモリ拡張が可能であること。 ・ HDD は RAID1+HotSpare 構成で、530GB 以上の利用可能な容量を確保すること。 ・ HDD は 10,000rpm 以上の SAS ディスク、若しくはそれ以上のスペックであること。 ・ サーバ本体及びHDDはホットプラグ対応であること。 ・ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、2 ポート以上実装されていること。 ・ 2. (4) 1にあるオペレーティングシステムがプレインストールされていること。 ・ CD-ROM：24 倍速以上、DVD-ROM：8 倍速以上の CD-ROM/DVD-ROM ドライブが実装されていること。 ・ 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 外面ランプから故障検知ができること。 ・ 電源装置が 2 基搭載されていること。 ・ BMC(Baseboard Management Controller)と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップを搭載し、IPMI(Intelligent Platform Management Interface)に準拠していること。 ・ 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由でハードウェアの基本コンポーネント（CPU、メモリ、バス、ファン、温度センサ、電圧など）の監視が行えること。 ・ 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由での電源投入、電源断、画面操作が行えること。 ・ リカバリーディスクが付属していること。	1

(7) バックアップサーバ

項番	名称	要件	数量
1	バックアップサーバ	必須要件 - バックアップサーバとして安定動作できる CPU、メモリ、HDD 要件を満たしていること。 - 搭載される CPU は、Xeon Sliver 4410Y と同程度（周波数：2.0GHz、コア数：12 コア/24 スレッド）、若しくはそれ以上の CPU スペックを持ち合わせていること。 - システムメモリは、32GB 以上実装されていること。 - メモリ拡張が可能であること。また CPU を最大 2 基まで搭載できること。 - システム領域の HDD は RAID10+HotSpare 構成で、6,000GB 以上の利用可能な容量を確保すること。 - バックアップ領域の HDD は RAID6+HotSpare 構成で、7,200GB 以上の利用可能な容量を確保すること。 - HDD は 10,000rpm 以上の SAS ディスク、若しくはそれ以上のスペックであること。 - サーバ本体及び HDD はホットプラグ対応であること。 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、2 ポート以上実装されていること。 10GBASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、2 ポート以上実装されていること。 2.(5) 1にあるオペレーティングシステムがプレインストールされていること。 - CD-ROM：24 倍速以上、DVD-ROM：8 倍速以上の CD-ROM/DVD-ROM ドライブが実装されていること。 - 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。 - 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 - EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 - バックアップ装置が接続可能であること。 - バックアップ装置を接続可能とする SAS カード、及び SAS ケーブルを搭載していること。 - SAS カードは 1 ポートあたり 6Gbps 以上であること。 - 外面ランプから故障検知ができること。 - 電源装置が 2 基搭載されていること。 - BMC (Baseboard Management Controller) と呼ばれるオンボード・サーバ管理チップを搭載し、IPMI (Intelligent Platform Management Interface) に準拠していること。 - 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由でハードウェアの基本コンポーネント（CPU、メモリ、バス、ファン、温度センサ、電圧など）の監視が行えること。 - 機器に通電されていれば、OS や電源 ON/OFF の状態に関わらず、遠隔地から LAN 経由での電源投入、電源断、画面操作が行えること。 - リカバリーディスクが付属していること。	1

(8) 運用監視端末

項番	名称	要件	数量
1	運用監視端末	必須要件 - 運用監視端末として安定動作できる CPU、メモリ、HDD 要件を満たしていること。 - CPU は、Intel Core i3-14100T と同程度（周波数：2.7GHz、コア数：4 コア/8 スレッド）、若しくはそれ以上の CPU スペックを持ち合わせていること。 - システムメモリは、8GB 以上実装されていること。 - HDD/SSD 容量は、256GB 以上の実容量が実装されていること。 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、1 ポート以上実装されていること。 2. (6) 1 にあるオペレーティングシステムがプレインストールされていること。 - DVD スーパーマルチドライブ (DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW、DVD-ROM、DVD-Video、CD-ROM、CD-R、CD-RW、バッファアンダーラン防止機能) が実装されていること。 - キーボード (JIS109 配列日本語)、マウス (ホイール) が装備されていること。 17 インチ SXGA 以上の TFT カラーLCD であること。 - 電源：交流 100V 単相であること。 - 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。	1

(9) バックアップ装置

項番	名称	要件	数量
1	バックアップ装置	必須要件 ・ バックアップサーバに接続可能であること。 ・ LTO-8 以上の規格のテープデバイスであること。 ・ 最大で 6Gbps のデータ転送が可能な SAS ポートを 1 ポート以上搭載していること。拡張カードによる実現も可とする。 ・ データカセットを 24 巻以上搭載できること。 ・ LTO-8 以上の規格のデータカセットを令和 13 年 10 月まで必要な数量として 75 巻用意すること。 ・ バックアップ装置に対応したクリーニングテープを 3 巻用意すること。 ・ 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識可能な ETHER ポートが、1 ポート以上実装されていること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。又は EIA 規格の 19 インチラック対応でない場合は、EIA 規格の 19 インチラックに搭載するための措置を施すこと。 ・ 電源：交流 200V 単相又は交流 100V 単相であること。 ・ Web ブラウザ等でバックアップ装置に接続しハードウェア状態の遠隔監視が可能であること。 ・ 遠隔での電源操作により機器の再起動が可能であること。 ・ 温度 10～35℃、湿度 20～80%（結露なし）で正常に動作すること。	1

(10) ラック

項番	名称	要件	数量
1	ラック	必須要件 ・ EIA 規格の 19 インチラックであること ・ 施錠可能でかつ金属製ラックであること。 ・ 3 基のラックで以下の装置を全て搭載できること。また、搭載するための付属品等を用意すること。 1. 仮想管理サーバ (1. (1)にて指定された製品) 2. 共有ディスク装置 (1. (2)にて指定された製品) 3. ディスプレイ及びキーボード (1. (3)にて指定された製品) 4. 無停電電源装置 (1. (4)にて指定された製品) 5. ActiveDirectory サーバ (1. (5)にて指定された製品) 6. 運用監視サーバ (1. (6)にて指定された製品) 7. バックアップサーバ (1. (7)にて指定された製品) 8. バックアップ装置 (1. (9) 1にて指定された製品) 9. スイッチングハブ (3にて指定された製品) 10. ゲートウェイ装置 (3にて指定された製品) 11. 既設の G-NET 用ルータ、IP-VPN 用ルータ、遠隔保守用ルータ、ONU (注1) ・ 免震装置の上に設置が可能であり、ラックと免震装置を固定できること。 ・ 免震装置が動作した際のケーブル引込みによる切断を防止するため、後扉にあげた開口部からケーブルを配線できること ・ 上記の機器を全て搭載した状態で、免震装置の重量を含め 1 m²あたりの耐荷重 600kg/m²までのフロアに設置可能であること。 ・ 免震装置の高さを含め設置場所の設置上限 (高さ 255cm) を超えないこと。 ・ ラック内の機器については、排熱を考慮して適度な間隔を置いて搭載すること。 ・ 回線終端装置はラックマウントタイプではないため、棚を設けてラックに収納し、バンドによる固定が行えること。	3 注2

(注1) G-NET ルータ、IP-VPN 用ルータ、遠隔保守ルータ、ONU については別途提示する。

(注2) 全ての機器を搭載した上で設置場所の耐荷重要件を満たせる場合には2基でも可とする。

(11) 免震装置

項番	名称	要件	数量
1	免震装置	必須要件 ・ フリーアクセスパネルの上に固定して設置され、(10)に示すラックが設置可能であること。 ・ 水平加速度 1000gal を 200gal まで減衰可能な免振性能 ・ 水平変位量が±250mm 以内であること ・ 巨大地震などの想定外の状況でも安全性が確保可能なフェイルセーフ機能を有すること。 ・ 設置後に定期的なメンテナンスや修理が不要で、長期にわたって安定した性能を維持できるメンテナンスフリーな製品であること。	注1

(注1) (10) に示すラック 3 台が設置可能な数量を準備し、連結などの対策を講ずること。

2 ソフトウェア

(1) 仮想管理サーバ

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 - 一般的に広いシェアをもち、かつ、仮想化ソフトウェア及び標準共済システム（注1）が正常稼動する 64bit オペレーティングシステムであること。 - 仮想管理サーバから標準共済システムサーバを管理できる機能を有すること。 - バックアップサーバよりセキュリティパッチを取得できること。 - ActiveDirectory サーバによりアカウント認証及びポリシー適用できること。	3
2	バックアップ管理ツール	必須要件 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - CD等インストール媒体が付属していること。	3
3	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 - リアルタイムウイルス検出が可能であること。 - システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 - バックアップサーバよりウイルス定義ファイルを取得できること。 - ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 - ウイルス自動駆除が可能であること。 - ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - CD等インストール媒体が付属していること。	3
4	電源管理ソフトウェア	必須要件 - Webブラウザ等を使用し、ネットワーク設定や個々のコンピュータシステムのシャットダウン時間を設定及び電源イベントを表示可能であること。 - 無停電電源装置の冗長構成に対応可能であること。 - リモートより無停電電源装置に接続されたコンピュータシステムをシャットダウン、リブート可能であること。 - 電源関連イベントの際の設定したアクションを監視し、ログを作成可能であること。 - 無停電電源装置が出力を停止する前に、標準共済システムサーバを含め、保護しているコンピュータシステムを安全にシャットダウンが可能であること。 - 電源関連のイベントが起きた際に、システム管理者に通知が可能であること。 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - CD等インストール媒体が付属していること。	3

5	運用監視ソフトウェア	必須要件 ・ サーバのリソース（CPU/メモリ/ディスク/データベース等）の監視及びジョブプロセス、ログファイルの監視を行い、設定した閾値を超えた場合やプロセス等に異常が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 ・ 業務アプリケーション、OS及びミドルウェア等について、プロセス監視、アプリケーション障害監視を行い、障害が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 ・ 項番1のOS上で正常稼動すること。 ・ CD等インストール媒体が付属していること。	3
---	------------	---	---

（注1）標準共済システムで使用するソフトウェアについては、別途提示する。

(2) 標準共済システムサーバ

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 - 一般的に広いシェアをもち、かつ、標準共済システム（注1）が正常稼動する 64bit オペレーティングシステムであること。 - 仮想管理サーバで管理されている標準共済システムサーバ上で標準共済システムが正常動作すること。 - バックアップサーバよりセキュリティパッチを取得できること。 - ActiveDirectory サーバによりアカウント認証及びポリシー適用できること。	18
2	データベース管理ソフトウェア	必須要件 - 次期標準共済システム（注1）が正常稼動すること。 - クライアント/サーバ・アプリケーションの迅速な開発・配備に対応できるよう最適化されたデータベース管理システムであること。 - 高速なトランザクション処理が可能であること。 - SQL 及びオブジェクト・データベース・アクセスの方法でデータにアクセス可能であること。 - 共済組合業務の複雑なデータ構造を格納するのに適したオブジェクト指向データベースであること。 - 長時間の連続運転が可能であること。 - ODBC での接続が利用可能であること。 - 様々なプラットフォームに対応し、プラットフォーム依存が少ない製品であること。 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - データベースの暗号化が行えること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。 - 標準共済システムに接続するクライアント台数分のアクセスライセンスを含むこと。 - アクセスライセンスについては、サブスクリプション形式ではなく永続ライセンス形式とすること。 - コアライセンスではなく、注2に記載されているクライアント台数が同時アクセス可能なライセンスを用意すること。 - 暗号化通信を使用した接続が可能であること。	注2

項番	名称	要件	数量
3	バックアップ管理ツール	必須要件 ・ 1 (9) のバックアップ装置に対応しており、標準共済システムと連携をして、バックアップサーバから標準共済システムサーバのバックアップが取得されること。 ・ 項番1のOS上で正常稼動すること。 ・ CD等インストール媒体が付属していること。	18
4	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 ・ リアルタイムウイルス検出が可能であること。 ・ システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 ・ バックアップサーバよりウイルス定義ファイルを取得できること。 ・ ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 ・ ウイルス自動駆除が可能であること。 ・ ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 ・ 項番1のOS上で正常稼動すること。 ・ CD等インストール媒体が付属していること。	18
5	運用監視ソフトウェア	必須要件 ・ サーバのリソース (CPU/メモリ/ディスク/データベース等) の監視及びジョブプロセス、ログファイルの監視を行い、設定した閾値を超えた場合やプロセス等に異常が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 ・ 業務アプリケーション、OS及びミドルウェア等について、プロセス監視、アプリケーション障害監視を行い、障害が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 ・ 項番1のOS上で正常稼動すること。 ・ CD等インストール媒体が付属していること。	18

(注1) 標準共済システムで使用するソフトウェアについては、別途提示する。

(注2) 標準共済システムに接続するクライアント台数分のアクセスライセンスを含むこと。各共済組合のクライアント台数は以下の表「クライアント台数」の通りである。この数字は各組合で1台ずつ保有するサーバの保守用接続ライセンス18台を含む。

表 クライアント台数

対象となる共済組合	クライアント台数
・ 衆議院共済組合	9 台
・ 参議院共済組合	17 台
・ 内閣共済組合	33 台
・ 総務省共済組合	35 台
・ 法務省共済組合	82 台
・ 外務省共済組合	51 台
・ 財務省共済組合	88 台
・ 文部科学省共済組合	265 台
・ 厚生労働省共済組合	108 台
・ 農林水産省共済組合	51 台
・ 経済産業省共済組合	58 台
・ 国土交通省共済組合	94 台
・ 裁判所共済組合	72 台
・ 会計検査院共済組合	13 台
・ 刑務共済組合	62 台
・ 厚生労働省第二共済組合	132 台
・ 林野庁共済組合	24 台
・ 国家公務員共済組合連合会職員共済組合	16 台
合計	1,210 台

(3) ActiveDirectory サーバ

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 ・ 一般的に広いシェアをもち、かつ、ActiveDirectory 及び標準共済システム（注1）が正常稼動する 64bit オペレーティングシステムであること。 ・ 標準共済システムに接続するクライアント 1,192 台分と運用監視端末 1 台分、遠隔保守端末 4 台分の合計 1,197 台分のデバイス CAL（クライアントアクセスライセンス）接続デバイス数ライセンスを用意すること。 ・ 遠隔保守端末 4 台から各サーバ（仮想管理サーバ、標準共済システムサーバ、ActiveDirectory サーバ、運用監視サーバ、バックアップサーバ）及び運用監視端末にリモートデスクトップ接続でアクセスするために必要となるアクセスライセンスを用意すること。 ・ 標準共済システムサーバ、仮想管理サーバ、ActiveDirectory サーバ、標準共済システムクライアントのアカウント管理、ポリシー管理する機能を有すること。 ・ バックアップサーバよりセキュリティパッチを取得できること。	2
2	バックアップ管理ツール	必須要件 ・ 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 ・ CD 等インストール媒体が付属していること。	2
3	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 ・ リアルタイムウイルス検出が可能であること。 ・ システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 ・ バックアップサーバよりウイルス定義ファイルを取得できること。 ・ ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 ・ ウイルス自動駆除が可能であること。 ・ ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 ・ 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 ・ CD 等インストール媒体が付属していること。	2

項番	名称	要件	数量
4	電源管理ソフトウェア	必須要件 - Web ブラウザ等を使用し、ネットワーク設定や個々のコンピュータシステムのシャットダウン時間を設定及び電源イベントを表示可能であること。 - リモートより無停電電源装置に接続されたコンピュータシステムをシャットダウン、リブート可能であること。 - 電源関連イベントの際の設定したアクションを監視し、ログを作成可能であること。 - 無停電電源装置が出力を停止する前に、保護しているコンピュータシステムを安全にシャットダウンが可能であること。 - 電源関連のイベントが起きた際に、システム管理者に通知が可能であること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	2
5	運用監視ソフトウェア	必須要件 - サーバのリソース（CPU/メモリ/ディスク/データベース等）の監視及びジョブプロセス、ログファイルの監視を行い、設定した閾値を超えた場合やプロセス等に異常が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 業務アプリケーション、OS 及びミドルウェア等について、プロセス監視、アプリケーション障害監視を行い、障害が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	2

(注 1) 標準共済システムで使用するソフトウェアについては、別途提示する。

(4) 運用監視サーバ

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 - 一般的に広いシェアをもち、かつ、運用監視ソフトウェアが正常稼動する 64bit オペレーティングシステムであること。 - バックアップサーバよりセキュリティパッチを取得できること。	1
2	バックアップ管理ツール	必須要件 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1
3	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 - リアルタイムウイルス検出が可能であること。 - システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 - バックアップサーバよりウイルス定義ファイルを取得できること。 - ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 - ウイルス自動駆除が可能であること。 - ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1
4	電源管理ソフトウェア	必須要件 - Web ブラウザ等を使用し、ネットワーク設定や個々のコンピュータシステムのシャットダウン時間を設定及び電源イベントを表示可能であること。 - リモートより無停電電源装置に接続されたコンピュータシステムをシャットダウン、リブート可能であること。 - 電源関連イベントの際の設定したアクションを監視し、ログを作成可能であること。 - 無停電電源装置が出力を停止する前に、保護しているコンピュータシステムを安全にシャットダウンが可能であること。 - 電源関連のイベントが起きた際に、システム管理者に通知が可能であること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1
5	運用監視ソフトウェア	必須要件 - サーバのリソース（CPU/メモリ/ディスク/データベース等）の監視及びジョブプロセス、ログファイルの監視を行い、設定した閾値を超えた場合やプロセス等に異常が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 業務アプリケーション、OS 及びミドルウェア等について、プロセス監視、アプリケーション障害監視を行い、障害が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 運用監視ソフトウェアが収集した情報を集約し、運用監視端末上の専用ソフトウェア上で表示する機能を有すること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1

(5) バックアップサーバ

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 - 一般的に広いシェアをもち、かつ、バックアップソフトウェア及び標準共済システム（注1）が正常稼動する 64bit オペレーティングシステムであること。 - 標準共済システムサーバ、仮想管理サーバ、ActiveDirectory サーバ、運用監視サーバ、バックアップサーバ、運用監視端末、標準共済システムクライアントに無償のツールでセキュリティパッチを配付・適用する機能を有すること。	1
2	バックアップ管理ツール	必須要件 1（9）のバックアップ装置に対応しており、標準共済システム（注1）と連携をして、標準共済システムサーバのバックアップを取得できること。 - 各サーバに導入されるソフトに対応したシステムバックアップが取得できること。 - 標準共済システムサーバのシステムバックアップが、システム終了と開始を含めて1台あたり60分以内で完了すること。 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - CD等インストール媒体が付属していること。	1
3	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 - 各共済組合で保有する現行のクライアントライセンスを使用可能な製品とすること。（注2） - ウイルス定義ファイルを標準共済システムサーバ、仮想管理サーバ、ActiveDirectory サーバ、運用監視サーバ、バックアップサーバ、運用監視端末に対して配信できる機能を有すること。 - 個別導入する予定の専用端末にもウイルス定義ファイルを配信できるような拡張性を持つこと。 - リアルタイムウイルス検出が可能であること。 - システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 - ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 - ウイルス自動駆除が可能であること。 - ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 - 項番1のOS上で正常稼動すること。 - CD等インストール媒体が付属していること。	1

項番	名称	要件	数量
4	電源管理ソフトウェア	必須要件 - Web ブラウザ等を使用し、ネットワーク設定や個々のコンピュータシステムのシャットダウン時間を設定及び電源イベントを表示可能であること。 - リモートより無停電電源装置に接続されたコンピュータシステムをシャットダウン、リブート可能であること。 - 電源関連イベントの際の設定したアクションを監視し、ログを作成可能であること。 - 無停電電源装置が出力を停止する前に、保護しているコンピュータシステムを安全にシャットダウンが可能であること。 - 電源関連のイベントが起きた際に、システム管理者に通知が可能であること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1
5	運用監視ソフトウェア	必須要件 - サーバのリソース（CPU/メモリ/ディスク/データベース等）の監視及びジョブプロセス、ログファイルの監視を行い、設定した閾値を超えた場合やプロセス等に異常が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 業務アプリケーション、OS 及びミドルウェア等について、プロセス監視、アプリケーション障害監視を行い、障害が発生した場合、監視コンソールへ自動で通知する機能を有すること。 - 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 - CD 等インストール媒体が付属していること。	1

(注 1) 標準共済システムで使用するソフトウェアについては、別途提示する。

(注 2) 標準共済システムクライアントなどウイルス対策ソフトウェアを使用する機器の OS に対応したバージョンを使用する。必要に応じて、バージョンアップ作業を実施すること。

(6) 運用監視端末

項番	名称	要件	数量
1	オペレーティングシステム	必須要件 ・ 一般的に広いシェアをもち、かつ、運用監視ソフトウェアが正常稼動する最新の Windows 64bit オペレーティングシステムであること。 ・ バックアップサーバよりセキュリティパッチを取得できること。	1
2	オフィスソフト	必須要件 ・ 標準共済システムで動作保証されているバージョンを使用すること。	1
3	ウイルス対策ソフトウェア	必須要件 ・ リアルタイムウイルス検出が可能であること。 ・ システムを再起動することなく、ウイルス定義ファイルとスキャンエンジンを自動更新可能であること。 ・ バックアップサーバよりウイルス定義ファイルを取得できること。 ・ ウイルス定義ファイル更新が頻繁に行われ、最新のウイルスにも対応可能であること。 ・ ウイルス自動駆除が可能であること。 ・ ウイルス定義ファイルの更新が無償で行えること。 ・ 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 ・ CD 等インストール媒体が付属していること。	1
4	運用監視ソフトウェア	必須要件 ・ 運用監視ソフトウェアが収集した情報を集約し、運用監視端末上の専用ソフトウェア上で表示する機能を有すること。 ・ 項番 1 の OS 上で正常稼動すること。 ・ CD 等インストール媒体が付属していること。	1

3 ネットワーク機器

項番	名称	用途	要件	数量
1	本番用スイッチングハブ (L2 スイッチ)	標準共済システムサーバやサーバ側ネットワーク機器を本番用のローカルエリアネットワーク (LAN) に接続する	必須要件 ・ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の ETHER ポートを 16 ポート以上装備していること。 ・ TCP/IP が利用可能であること。 ・ スwitchング方式は、ストア&フォワードであること。 ・ フロー制御は、IEEE802.3X(全二重)、バックプレッシャー方式(半二重)であること。 ・ MAC アドレス学習テーブルが 2000 以上であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 電源：交流 200V 又は交流 100V であること。 ・ レイヤー2 スイッチ、スパニングツリー、リンクアグリゲーション(LACP)に対応していること。 ・ ネットワークセグメントを論理的に分割可能な製品とすること。 ・ 環境構築時に、現行システムの本番用スイッチングハブ (L2 スイッチ) に接続すること。	1
2	管理用スイッチングハブ (L2 スイッチ)	標準共済システムサーバやサーバ側ネットワーク機器を管理用のローカルエリアネットワーク (LAN) に接続する	必須要件 ・ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の ETHER ポートを 40 ポート以上装備していること。 ・ TCP/IP が利用可能であること。 ・ スwitchング方式は、ストア&フォワードであること。 ・ フロー制御は、IEEE802.3X(全二重)、バックプレッシャー方式(半二重)であること。 ・ MAC アドレス学習テーブルが 2000 以上であること。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能であること。 ・ 電源：交流 200V 又は交流 100V であること。 ・ レイヤー2 スイッチ、スパニングツリー、リンクアグリゲーション(LACP)に対応していること。 ・ ネットワークセグメントを論理的に分割可能な製品とすること。 ・ 環境構築時に、現行システムの管理用スイッチングハブ (L2 スイッチ) に接続すること。	1

項 番	名称	用途	要件	数 量
3	バックアップ用 スイッチングハ ブ (L2 スイッチ)	標準共済システム サーバとバックア ップサーバをバック アップ用のロー カルエリアネット ワーク (LAN) に接 続する	必須要件 ・ 10GBASE-T の ETHER ポートを 8 ポート以上装 備していること。 ・ 100BASE-TX/1000BASE-T の ETHER ポートを 2 ポート以上装備していること。 ・ TCP/IP が利用可能であること。 ・ スイッチング方式は、ストア&フォワードであ ること。 ・ フロー制御は、IEEE802.3X(全二重)、バック プレッシャー方式(半二重)であること。 ・ MAC アドレス学習テーブルが 2000 以上である こと。 ・ EIA 規格の 19 インチラックに搭載可能である こと。 ・ 電源：交流 200V 又は交流 100V であること。 ・ レイヤー2 スイッチ、スパニングツリー、リ ンクアグリゲーション(LACP)に対応している こと。 ・ ネットワークセグメントを論理的に分割可能 な製品とすること。	1

項 番	名称	用途	要件	数 量
4	ファイバーチャ ネルケーブル	各機器を接続する ために使用する。	必須要件 ・ 16Gbps 以上に対応していること。 ・ 各機器の接続に必要な長さや数量を用意する こと。(注)	注
5	LAN ケーブル (業務 LAN 用)	各機器を接続する ために使用する。	必須要件 ・ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応のスト レートケーブルであること。 ・ コネクタ形状が RJ-45 形式であること。 ・ 各機器の接続に必要な長さや数量を用意する こと。(注)	注
6	10Gbit 対応 LAN ケーブル (バックアップ LAN 用)	バックアップ用ス イッチングハブと 各サーバを接続す るために使用する。	必須要件 ・ 10GBASE-T 対応のストレートケーブルである こと。 ・ コネクタ形状が RJ-45 形式であること。 ・ 各機器の接続に必要な長さや数量を用意する こと。(注)	注

(注) ネットワーク構成図や設置場所の配置図については、別途提示する。

4 特記事項

- (1) 各機器については、以下に記載した設置場所への搬入経路から搬入可能であること。
エレベーターホール：扉幅 195cm、高さ 216cm、廊下耐荷重 800kg/m²
エレベーター：入り口扉幅 120cm、高さ 210cm、かご内幅 190cm、奥行き 230cm、高さ 233cm 搭載重量 2150kg
- (2) 各機器の発熱量の合計が 90,000kJ/h 以内であること。
- (3) 標準共済システム動作確認済以外のソフトウェアを納入して標準共済システムの動作に問題が生じた場合は、ソフトウェアの納入業者の責にて対応すること。
- (4) 納入する各ソフトウェアのライセンスは、プロセッサ数やコア数等機器の構成内容を踏まえた数量を用意すること。